

第1回尾張旭市総合計画審議会第3部会  
(安全安心、産業振興、行財政運営) 会議録

- 1 開催日時  
平成25年7月11日(木)  
開会 午後2時  
閉会 午後4時5分
- 2 開催場所  
尾張旭市役所3階 庁議室
- 3 出席者  
加藤 義人、若杉 恵、服部 正勝、西尾 末子、中山 正秋
- 4 欠席者  
なし
- 5 傍聴者数  
0名
- 6 出席した事務局職員  
企画部長 川原 芳久、企画課長 石坂 清二、企画課長補佐 山本 和男、  
企画課主査 久野 善之、企画課主査 中川 暢頭
- 7 議題等  
(1) 基本構想(案)について  
(2) 政策4(安全安心)について
- 8 会議の要旨

企画部長	本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 定刻になりましたので、ただ今から、尾張旭市総合計画審議会第3部会(安全安心、産業振興、行財政運営)の第1回目の部会を開催させていただきます。 それでは、加藤部会長、よろしく願いいたします。
加藤部会長	本日は、第1回目の部会を召集いたしましたところ、皆様ご多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。 本日の会議につきましては、お手元に配布していただいております次第に従って進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いします。
加藤部会長	まず、去る7月3日の全体会におきまして、各部会の職務代理者を、本日の第1回の部会で選出することといたしましたので、職務代理者の選出を行いたいと思います。 全体会で、職務代理者は部会長が指名することとしておりますので、私から指名させていただきます。 私としましては、若杉恵委員に職務代理者をお願いしたいと思います。 若杉委員よろしく願いします。

加藤部会長	<p>それでは、議事に入る前に、部会の審議範囲と今後の進め方について確認をしておきたいと思いますので、事務局から、説明をお願いします。</p>
企画課長	<p>まずは部会の審議範囲につきましては、資料9及び前回の全体会で配布いたしました資料5をご覧ください。</p> <p>(部会の審議範囲説明)</p>
企画課長	<p>次に部会の進め方について、事務局の案をご説明いたします。</p> <p>部会の進め方につきましては、部会でお決めいただくのが本来の姿ですが、他の部会との整合性もあることから、せん越ではあります事務局で考えた案を説明させていただきます。</p> <p>部会の審議範囲で説明いたしました3つの政策についてご審議いただく訳ですが、その前に前回の全体会でご議論いただきました基本構想(案)について、各部会がそれぞれの担当分野の視点でご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>その後、先ほどご説明いたしました3つの政策について、1政策ごとにご審議いただきたいと考えております。</p> <p>したがいまして、本日は政策4(安全安心)について、事務局から説明を行った後に、ご審議いただきたいと思っております。</p> <p>それから次回の部会では、政策6(産業振興)と政策8(行財政運営)について、同様に審議をお願いしたいと考えております。</p> <p>なお、部会は3回の開催を予定しており、最終の第3回には、2回の部会で出された意見のまとめを行い、その後の10月4日の第3回全体会において部会としての報告を行っていただければと考えております。</p>
加藤部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今事務局から説明いただきましたが、基本構想(案)は全体会で議論するものでありますが、議論できる時間が限られますので、この部会として担当する分野を中心にご意見を伺いたいと考えております。</p> <p>その後、担当します政策4について審議を行いたいと考えております。</p> <p>審議の進め方については、事務局を通じて、他の部会においても同様の進め方を行うことができるかを事前に確認していただいております。</p> <p>このような進め方でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
加藤部会長	<p>それでは、これより基本構想(案)について、当部会の担当する分野の視点から、お気付きのところについてご意見をいただきたいと思っておりますが、前回配布されました資料5の11ページから17ページまでのうち、13ページから16ページについては、政策の大綱となっております、これから審議を行っていく部分となりますので、後回しにしたいと思います。</p> <p>それでは基本構想(案)について、ご意見とご質問をお願いします。</p>
若杉委員	<p>12ページの第4章に土地利用構想が記載されており、「住居系」「商業系」</p>

	<p>「工業系」「農業系」「公園・緑地系」という区分がされており、既に市において色分けがされています。</p> <p>新たに名古屋市立保育短期大学の跡地が市のものとなり、これからどのように活用していこうかと構想している所かとは思いますが、近接する平子町地内の農業地が耕作放棄地となり、現状は、資材置き場や廃棄物置場になりつつあります。</p> <p>平子町東地内に先端技術の事業所が進出してくることについて聞いたことがあります。そこで、その地域を工業系に区分し、工業団地という訳では無く、先端技術の工場を誘致する地区として特化してはどうかと考えています。</p> <p>理由としては、東名高速道路の守山スマートIC化と名古屋市守山区志段味地区の開発、保育短期大学跡地の活用、旭労災病院の建築など周辺の開発が進んでいきます。このあたりの一帯を網がけして有効活用を検討して欲しいと考えています。</p>
若杉委員	<p>もう一つは、環境事業センター西側の稲葉地区は工業地になっているのであれば、農業系の位置付けとして欲しいと思います。あの地域は農業を振興していく場所であり、これ以上農用地をつぶして工業地にすることは望ましくないと考えています。</p> <p>尾張旭市の農用地は、西の野町・稲葉町地内と城山公園の南側、旭丘小学校の南側の3箇所であり、言ってみれば田んぼはそこしか残されていない状況で、絶対に残していかなければいけないと思います。</p> <p>市民アンケートでも農用地を残したいという意見がかなり多く出されており、土地利用構想の中に工業・農業という視点で加えてはどうでしょうか。</p>
加藤部会長	<p>かなり具体的なお意見が出されましたが、12ページの基本構想の部分で扱えるかという点、具体性から難しいと思います。</p> <p>関わりがある所が後段に出てきますので、ご意見を記録にとどめて、全体会の中で、関連する意見があれば、調整をお願いしたいと思います。</p>
企画課長	<p>若杉委員からご意見をいただいた点については、都市計画マスタープランでは、稲葉町の農用地を工業系に変えるという計画にはなっておりません。</p> <p>ただし、新たな工業用地の拡大については、「工業用地の確保が必要と考えられる場合は、都市計画審議会等での審議を経た後に、見直しを行うこととします。」とされています。</p> <p>基本的には、用途の見直しは行いませんが、これからの景気や土地の需要の関係で、変更が必要と判断した場合には、都市計画審議会に諮り、変更される可能性があるということになります。</p>
若杉委員	<p>土地の利用については、時代の趨勢によってどのようになって行くか、分からない面があります。</p>
加藤部会長	<p>一方で、耕作放棄地が増えており、農地が荒れていくことも問題であり、状況を見ながらということになるかと思えます。</p>

	<p>また、若杉委員のご意見の1点目については、今回の審議の範囲からは外れてしまいますが、25ページ下段に「※平成24年度に取得した名古屋市立保育短期大学等跡地（平子町北地内）については、必要に応じて見直しを行います。」と記載されております。</p>
加藤部会長	<p>保育短期大学の跡地は、本市にとっての宝であり、この会議だけでこうしようという方向性は決められないと思います。</p> <p>ただし、あの土地を有効に使っていこうという精神を入れることは可能かと思えますので、25ページの記載については、「大切な資産として有効に使う」や「周辺の土地利用と連携しながら考える」といった意味合いを入れていくことは可能と思えますので、ご検討いただければと思います。</p>
西尾委員	<p>将来の都市像についてですが、前回の全体会において数人の委員から長いという意見が出ておりました。私個人としては、これまでの都市像は健康都市や公園都市といった少し堅苦しいイメージの言葉が使われておりました。</p> <p>都市というと都会的なイメージがあり、盛り込みすぎということは分かりますが、今の都市像（案）が分かりやすくいいと思います。</p>
服部委員	<p>ある程度定着すれば、都市像を切り替えてもいいと思えますので、過去にこだわらず決めていけばいいように感じます。</p>
若杉委員	<p>「みんなで支えあう 緑と元気あふれる 住みよいまち 尾張旭」から「まち」を切って、「住みよい尾張旭」としてはどうでしょうか。</p>
中山委員	<p>私も、今出された「住みよい尾張旭」がすっきりしているのではないかと感じます。将来の都市像は、この後いろいろな出版物に掲載されていくものですので、ある程度すっきりしたほうが良いと思います。</p>
服部委員	<p>都市像の案ですと、尾張旭市がどのようなまちかが一目で分かるように思います。フレーズが長いと思いますが、その分まちのイメージがつかみやすくなると思います。</p> <p>どちらかがいいと言う議論になると、市内向けなのか、市外向けなのかというターゲットによっても変わってくると思います。</p>
西尾委員	<p>テレビCMではありませんので、短ければいいとは思いません。将来の都市像は出版物で見ることが多いので、長くても問題ないと思います。</p>
加藤部会長	<p>将来の都市像だけで議論してもいけないと思います。</p> <p>12ページに計画人口が記載されておりますが、今のペースで行くと尾張旭市は、平成32年をピークに人口減少を迎えることが確実視されています。また、日本全体で人口が減っていくことも確実です。それなのに計画人口として84,000人に伸ばしていきたいと宣言している攻めの総合計画だと私は感じました。</p> <p>どこのまちでも人口減少が当たり前の時代に、人口を増やすためには他のまちから人を呼び寄せる必要があります。尾張旭市の住みよさを最大限にアピールして、「尾張旭市に住みたい」と言ってくれる人たちを、積極的に受け入れ</p>

	<p>ていくことは、攻めの計画であると言えます。</p> <p>これらのことを「住みよいまち」という言葉にくるんでおり、これはある意味戦略的で戦術的であると思います。中身は攻めだが、言葉はとてもソフトになっており、評価出来るものと思います。</p> <p>この総合計画案を作成するにあたり、2年半近い時間をかけてここまでできており、1字1句をそう簡単に変えられないとは思いますが。その意味で、本日出された意見を全体会の中で紹介したいと考えております。</p>
企画部長	<p>将来の都市像をつくり上げるにあたって、昨年10月に議員との意見交換会を実施しました。意見交換会の中で、「住みよ尾張旭」という意見はありませんでしたが、語呂が悪いという意見も出ました。</p> <p>今まで、本市は人口が伸び続けてきましたが、初めて、平成23年度に対前年比で人口が減少しました。また、高齢化率も21%を超え、超高齢社会に突入したところですが。これらの環境変化を踏まえて、若手の意見を基に時間をかけて検討してきたところですが。</p>
加藤部会長	<p>将来の都市像の説明として、4つの丸が記載されておりますが、それぞれが明瞭に分解されており、思いを分解して伝えることも必要であり、これらの説明も分かりやすいと思います。</p>
中山委員	<p>将来の都市像に書かれている「まち」というのは、「みんなで支えあうまち」「緑あふれるまち」「元気あふれるまち」「住みよいまち」と言うように、全ての要素にかかってくるものなのではないでしょうか。</p> <p>そうであれば、あくまで直観的なイメージですが、「住みよ」と「まち」の間にスペースを入れてはどうでしょうか。</p>
若杉委員	<p>「みんなで支えあう尾張旭」「緑あふれる尾張旭」「元気あふれる尾張旭」「住みよいまち尾張旭」と考えるのであれば、「住みよいまち」と「尾張旭」の間に「＝」記号を入れてもいいのではないのでしょうか。また、単語ごとに「・」を入れてもよいのではないのでしょうか。</p>
加藤部会長	<p>将来の都市像の前段部分が「まち」や「尾張旭」にかかってくると考えることもできると思います。</p> <p>皆さんから色々な意見をいただきましたが、「短くすればよい」という発想とは反対の意見をいただいております、全体としては中身が充実しているという意見をいただいております。</p>
加藤部会長	<p>都市像の説明の中で、「元気」には健康だけでなく、産業の振興も含まれるということです。それであれば、「元気あふれる」の説明の中で、企業と商店だけを具体的に明示すると、農業や勤労者が含まれていないのではないのかという意見も出てくる可能性がありますので、「産業の活気があふれる」という視点から、表現を検討してはいかがでしょうか。</p>
企画部長	<p>ご意見のとおり、企業と商店だけでは説明が足りないかと思っておりますので、検討させていただきます。</p>

若杉委員	加藤部会長から攻めの84,000人というご意見がありました。将来の都市像の説明の中に攻めの言葉を入れて欲しいと思います。
加藤部会長	あくまで例示ですが「地域の経済や産業が活気づく」などの言葉を入れてはどうでしょうか。ただし、個別の文言を掲載してくださいとは申し上げません。
服部委員	土地利用構想の中で、工業系の区分が記載されておりますが、現実的に尾張旭市内で工業系とすることは不可能であると思いますので、将来的に例えば稲葉地区などでは用途が転換できるような記載があるといいと思います。 工業団地という規模ではないにせよ、工業系の可能性があるという表現が欲しいと思います。
加藤部会長	工業系の新規の立地が難しいということでしょうか。
服部委員	工業については、現状では精いっぱいではないかと考えています。
加藤部会長	ご意見をいただきましたが、12ページの基本構想では、工業系という区分があるという紹介だけであり、詳しくは25ページに詳しく記載されており、そちらで考えていくものといえます。 そうした意味でも、保育短期大学の跡地に可能性を残すことは必要と思います。
企画部長	産業振興という観点では、施策別計画の中の現状と課題の中で触れてもいいのではないかと思います。 例えば、85ページの施策6-2工業の振興では、国際戦略統合特別区域についての記載もあり、狭い市域の中ではありますが、限られたスペースに高い付加価値を生み出す企業を誘致することも考えられるとは思っています。
加藤部会長	保育短期大学の跡地については、具体的な施策や25ページの土地利用構想に織り込んで記述してもいいのではないのでしょうか。 攻めの計画としてバランスをとるために、あちこちに記載をちりばめてもいいのではないのでしょうか。
加藤部会長	当部会として、基本構想について出た意見をまとめますと、将来の都市像については基本的に賛同の意見が出されたことと、土地利用については12ページで記載できる範囲は限定的ですが、ここから派生する箇所については、将来の可能性をおおむね記載が必要であること、特に保育短期大学の跡地の取扱いについて、ご意見が集中したと言えます。 また、11ページ下部に記載された「元気あふれる」の説明については、表現が工夫できるのではないかと意見が出されました。 それでは、基本構想に係る審議はここまでにしたいと思います。
	午後2時50分休憩 午後3時再開
加藤部会長	2つ目の議題は、政策4（安全安心）についてのご意見をいただきたいと思っております。それでは、まず、事務局から資料の説明をお願いします。
企画課長補佐	（資料5のうち政策4の説明）

	(資料10の説明)
加藤部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、お聞きいただきましたように、政策4（安全安心）には、施策が4-1から4-5までに分かれております。そこで審議は、施策ごとに一つ一つ行っていくことにします。</p> <p>それでは、施策4-1「防災・減災対策の推進」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。</p>
加藤部会長	<p>最近、南海トラフという表現をすることがありますが、ここでは3連動地震と記載されていますがよろしいですか。</p>
企画課長補佐	<p>愛知県作成の資料でも3連動地震という表現が使われておりますので、現時点では問題ないものと考えておりますが、おそらく愛知県も南海トラフという表現に変えていくことが想定されますので、情勢によって必要な修正を行う予定です。</p>
加藤部会長	<p>尾張旭市は、過去に自然災害が起きた記録はありますか。意識の高揚のためには、市民が情報を持っていることが重要と思います。尾張旭市の過去の災害履歴やハザードマップを見てもらうことが必要ではないでしょうか。</p> <p>また、そのハザードマップは、市民が見たい時に見られる場所にありますか。</p>
企画課長補佐	<p>自然災害の記録と言いますか、土砂災害などを記したハザードマップがあります。ハザードマップは、市ホームページに掲載されていますが、すぐに見られる状況かと言えば、難しいかもしれません。</p>
加藤部会長	<p>基本事業4-1-1に「防災・減災意識の高揚」が書かれていますが、そのためには、災害に係る基本的な情報を市民が持っていることがベースになるのではないかと思います。</p> <p>市民アンケートで確認している「小中学校の体育館が避難場所であることを知っているか」も重要ですが、尾張旭市の過去の災害履歴やハザードマップをもっと見てもらえるようにしてはどうかと思います。</p>
西尾委員	<p>尾張旭市のハザードマップは、過去に全戸配布されていますが、配布された後は、あまり見ることはないのが現状です。</p>
中山委員	<p>濁池の改修工事が進んでいますが、その他の池は大きな地震が発生した時に決壊の可能性があるのでしょうか。そういったものの耐震強度はどのようになっていますか。また、池の耐震補強工事は愛知県の仕事なのでしょうか。</p>
企画課長	<p>7つあるため池のうち、調査した堤体のうち耐震強度が足りない池は長池であると聞いております。今後、県の事業として耐震補強工事を実施していく予定です。</p>
企画課主査	<p>事業の実施は県となりますが、尾張旭市内にあるため池の工事ですので、市として負担金を支払っていく形で事業を進めていきます。</p>
若杉委員	<p>これからは、農業用ため池の改修が進んでいきます。</p>
中山委員	<p>尾張旭市内に、活断層はありますか。</p>

企画部長	<p>近隣ですと尾張東部の猿投断層があります。</p> <p>本市の地盤は固く、ハザードマップで土砂災害が想定されている箇所を除いて、危険箇所もないと考えております。また、大きな災害が発生したという記録は無いと思います。</p>
加藤部会長	<p>災害の履歴をしっかり押さえておくと、尾張旭市の売りになると思います。尾張旭市は災害が減っているまちと言うことが分かることも、攻めの計画にとっては重要なことと言えます。災害に係る尾張旭市の情報を整備して、市民に共有を図ることも重要と思います。</p> <p>また、ため池があることも尾張旭市の特徴であると思います。そうであれば、そのため池が安全であることが必要であり、県の事業として耐震改修工事を実施していることを市民に情報発信していくことも大切だと思います。</p>
企画部長	<p>災害に強い地域であるという認識は持っています。</p>
加藤部会長	<p>災害に強いということも、市民へのPRが必要だと思います。</p>
企画課長	<p>災害に強いまちが、市としての魅力であるというご意見をいただきました。</p> <p>本日の審議対象ではありませんが、施策8-1「開かれた市政の推進」の基本事業で、「市の魅力の発信」を新設しました。この基本事業の中で、今までやってきたことや、昔からあるもので市民も気が付いていないものがまだあると思いますので、それらを今後は積極的に発信していきたいと考えております。災害に強いまちも今後はPRしていくものと考えております。</p>
服部委員	<p>市民アンケートを指標にしているものがありますが、地域が変われば数値も変わってくると思いますので、他市や県平均の数値があればいいと思います。</p>
企画課長	<p>アンケートの質問が他市でも一致していれば比較できますが、異なるものは難しいのが現状です。また、こちらの資料には記載されておきませんが、現在目標値を検討中でして、その中では他市の状況などを調べて検討しています。</p>
若杉委員	<p>65ページに記載されている「市の災害対策・防災体制に安心感をもつ市民の割合」が65.4%にとどまっているのは、大きな災害がないため、市民が安心しきっており、数値が低くなっているのではないのでしょうか。</p> <p>今後、発生が予想されている南海トラフ地震を踏まえると、具体的な方策が必要なように感じます。</p> <p>行政は、連合自治会に対して情報提供を行っていますが、町内会の各班単位まで行政が関与することができていないと思います。そのことが自治会加入率の低下にも影響しているのではないのでしょうか。</p> <p>また、防災・減災に対する行政の支援が行き渡っているがために、役員をやる負担を背負ってまでも町内会等の組織に加入する必要性を住民が感じていない面があるのではないかと思います。</p> <p>防災・減災については、自分たちのことは自分たちで守るという考え方が大切であると思います。そういった考え方が浸透すれば、一人暮らしのかたや高齢者にも目が行き届くようになるのではないのでしょうか。今は、隣近所との関</p>



	係が希薄化しているために、これらの問題も出てきているのではないかと思います。
加藤部会長	本施策の成果指標である「市の災害対策・防災体制に安心感を持つ市民の割合」と「市民レベルで防災・減災体制ができていると思う市民の割合」では、どちらかといえば、「市民レベルで防災・減災体制ができていると思う市民の割合」を高めていくことが必要ということでしょうか。
企画課長	「市民レベルで防災・減災体制ができていると思う市民の割合」の平成24年度の現状値である37.6%が、高い数値であるとは事務局も担当課も認識してはおりません。せめて半分以上のかたに意識していただけるように成果を伸ばしていきたいと考えております。 阪神・淡路大震災以降、市として耐震化などのハード対策を進めてきました。これからは、非常食を準備することや避難場所を確認しておくことのような市民レベルでのソフト対策を進めていく必要があると考えており、第五次総合計画では施策の名称に「減災」を追加した経緯があります。
加藤部会長	アンケートによって市民の意識を把握していくことになりますので、成果を向上させるためには、市民の皆さんの日ごろの意識を高めていく取り組みが必要であると思います。
西尾委員	市民の防災・減災意識を高めていくために、婦人消防クラブの活動に力を入れていく必要があるというご意見ですか。
加藤部会長	活動されている組織や体制は出来ており、そこに流す市からの情報が足りていないということではないでしょうか。情報を適正に発信していくことで、市民の皆さんにも浸透していくのではないのでしょうか。
企画部長	防災・減災活動は行政にお任せしますという意識では、対策が進んでいかないと思います。これからは、みんなで支えあうことが必要であり、総合計画にもその考え方が盛り込まれています。
加藤部会長	基本的には、ハードからソフトへという減災の取り組みを進めていくことで皆さんの認識は一致しているかと思います。 また、このままでは市民の意識が高まっていかないので、意識を高めるための取り組みを進める必要があることも一致した認識と思います。
加藤部会長	続きまして、施策4-2「消防・救急体制の充実」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。
中山委員	AEDの設置率は、どのようになっているのでしょうか。例えば、主要なマンションには設置を義務付けるなどの取り組みも考えられるかと思います。
企画課長	現在、AEDは消防署で一括管理を行っており、公共施設での配備に加えて、民間での配備状況もホームページなどを通じて情報発信を行っています。
西尾委員	一般のかたは、普通救命講習を受講する機会がなかなか無いと思います。例えば社会福祉協議会などで講習の実施に関する声かけをお願いしてもいいのではないのでしょうか。広報誌にも記事は掲載されておりますが、参加が進んで

	いないように感じます。
服部委員	1回の講習だけでは、実践はなかなか出来ないと思いますので、複数回、講習を受講することが必要だと思います。
若杉委員	シニアクラブや市民に人気のあるらくらく貯筋体操などの場を活用して、講習を進めてはどうでしょうか。使う確率の高い高齢者のかたを対象に、講習を実施していくことに意味があると思います。
中山委員	消防車や救急車が通れない道は、多くあるのでしょうか。
企画部長	資料が手元にないので正確なお答えはいたしかねますが、救急車が通ることのできない道はほぼないと思います。ただし、大型の消防車については、通ることのできない道もあるかと思っています。
加藤部会長	続きまして、施策4-3「交通安全対策の推進」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。
中山委員	歩行者と自転車の事故の発生を抑制するために、自転車専用道は整備されているのでしょうか。
企画課長	河川敷等を除いて、本市域に自転車専用道はございません。
服部委員	歩いている時にひやとした経験がありますので、自転車の交通ルールを守ることが必要と思います。
加藤部会長	いかに交通マナーを向上させるかが必要であると思います。
加藤部会長	高齢者の交通事故対策の推進が、新設された基本事業ですが、この部分についてご意見がありましたら発言をお願いします。
西尾委員	高齢者の免許証返納のPRは、進んでいるのでしょうか。
企画課長	免許証を返納されたかたに対して、市営バスの回数券の配布や、身分証明書として使うことのできる住民基本台帳カードの発行手数料を無料にする取り組みを行っていますが、浸透しているとは言えない状況です。
加藤部会長	車の運転が必要な元気な高齢者のかたもお見えになるので、ケースバイケースと思いますが、家族や周りのかたから見て、ちょっと危ないかもしれないと感じられたときに、背中を押してあげることが必要であると思います。 基本事業として高齢者の交通事故対策を進めていくことは重要ですが、どのように対策を行うのかを考える必要があると思います。
加藤部会長	続きまして、施策4-4「防犯対策の推進」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。
若杉委員	自治会に加入していないかたは、防災や防犯の取り組みの対象にならないでしょうか。
企画課長	町内会の回覧版などは回らないでしょうが、災害時の食料配布の際に、加入されていないかたを除外するというにはなりません。
若杉委員	安全なまちであるがゆえに、自治会への加入が促進されていないと思います。東日本大震災での教訓を踏まえて、加入促進を図っていただきたいと思います。

西尾委員	尾張旭市は空き巣の被害が多いと聞いたことがあります、どのような対策を行っているのでしょうか。
企画部長	被害の状況を多くのかたに知っていただくために、安全安心メールの配信を行っております。
企画課長補佐	犯罪の抑止に効果があると言われている地域防犯パトロールの参加者数を増やしていきたいと考えております。
加藤部会長	地域防犯パトロールも自治会活動の一環であれば、同じかたに負担が生じてしまいますので、多くのかたに自治会に加入していただき、負担を感じない仕組みが必要であると思います。 このことは、施策7-1を審議する際に、当部会で出された意見として伝えていただきたいと思います。
加藤部会長	最後に、施策4-5「消費者・生活者の安心の確保」について、ご意見がありましたら発言をお願いします。
加藤部会長	本施策で担当する消費者トラブルは、高齢者が狙われるという印象があります。中高年層をターゲットにして情報提供を図っていくことが重要だと思います。
若杉委員	近所で消費者トラブル等の被害にあったという話は、聞いたことがありません。
中山委員	知人が、投資詐欺にあった経験があります。投資に関して言えば、自己責任の部分もあるかと思いますが、いざという時に相談できる体制は必要であると思います。
加藤部会長	消費者トラブルが発生した際には、相談窓口に来る又は連絡していただく必要があります。そのことから相談窓口について情報発信を積極的に進める必要があるかと思っています。
加藤部会長	そろそろ時間も経過してまいりましたので、この件の審議はこの程度にとどめ、ご意見等につきましては、事務局で取りまとめていただくことにしたいと思います。
加藤部会長	続きまして、次第の3について事務局から、説明をお願いします。
企画課主査	(次回開催日の説明)
加藤部会長	ありがとうございました。 それでは次回の部会は、8月22日木曜日の午前10時から開催し、審議項目につきましては、「政策6 活力あふれるまちづくり」と「政策8 分野横断的なまちづくりと行財政運営」を審議議題として進めることとしますので、皆様よろしくをお願いします。 その他に連絡事項はありますか。
企画課長補佐	お手元に配布させていただいております、資料11と資料12について説明させていただきます。 資料11は、第1回総合計画審議会(全体会)の会議録ですが、この取扱い

	<p>については、次回の全体会で議題としたいと考えております。なお、市の附属機関の会議録は、基本的に公開となっておりますので、本審議会の記録についても原則公開として取り扱うこととしたいと考えております。</p> <p>配布資料を基に、内容のまとめ具合、委員各位の発言内容等について、次回全体会までに目を通してくださるようよろしくお願いいたします。</p>
企画課長補佐	<p>資料12は、全体会において尾張旭市と近隣市との間の人口の移動についてのご発言がありましたので、資料として提供させていただくものとなります。</p>
加藤部会長	<p>ありがとうございました。その他、事務局で何かありますか。</p>
企画部長	<p>特にございません。長時間に渡りご審議を頂きましてありがとうございました。次回以降もよろしくお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第1回目の第3部会の日程をすべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。</p>